

此の列朱の七隈寺島七本茶街尋ら北に在し  
 成台北の申候也

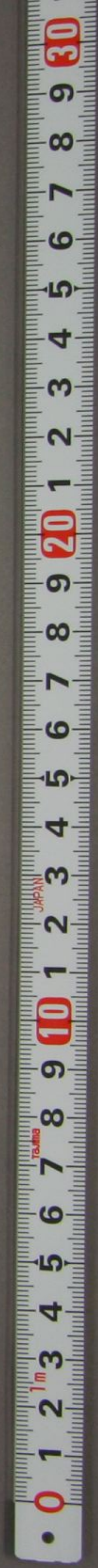
山口守中  
 岩倉のち臣殿

四日四日

外  
 此の列朱の七隈寺島七本茶街尋ら北に在し  
 成台北の申候也



114  
 A 263  
 264



星田冬軍ヨリ電報寫

背後攻撃ハ最早連日ノ戰鬥ニテ終宇土進  
軍ノ實ニ廣漠ノ地殊ニ數多ノ兵ヲ要スルトモ  
頗官軍ノ勉勵ニテ終ニ爰ニ産ス即今宇土  
ヨリクマノシヨウコヲサノウヘカタミタヨリサバカニ  
ニ掛ケ凡四五里間ノ哨兵ヲ要ニ殊ニ川尻ニ近  
接スル最早一里内賊モ又死ノ勢ニテ朝夕我  
哨兵線ヲ突キ破ラントノ勢カドク防禦最警戒  
セサルベカラス連テ申請シタル兵員速ニ来着セバ  
断然川尻ヲ攻撃ス能ク本城ニ逼スルヲ必然ナリ  
ト云々未タ兵員モ差向ラレズ空ク時日ヲ過  
スノミナラズ先頃ヨリ別府新介逸見十郎六郎  
縣千五百ヲ六ヲ募リ我背後ヲ突タトノ電報

大 電 報

アリト云は川尻ノ根柢ヲコラハイセバ何シテ也  
ハニ是ラシテ然ルニ果シテ田ノ浦辺ニ多人数押来  
ルトノ確報アリ左スレバ東西兵ヲ要シテ限リナシ萬  
御推察アル植木口ノ戦争ニ最早三十日間  
ニ至ルト云は未タ之ヲ抜キ城ニ通スル能ハス若シ攻  
口ヲ交換シテ當ロヨリ数多ノ兵ヲ以テ攻撃セバ必  
川尻ヲ抜キ城ニ通スル疑ナシ然リト云前条ノ通り廣  
漢ノ地勢殊ニ川尻ノ峻アリ旁即今ノ兵數ニテハ中  
着手ナリカタニ必ズ先頃ヨリ兵數差向ケラレハ速ニ此  
策モ待ハシ其義ナク實ニ時機ヲ誤ラニエラニカ  
遠憾千万ナリ厚御評議凡時モ速ニ即今ハ在ノ兵  
差向ケラレ平定ノ功ヲ奏セラシムラ切ニ申進ス折返シ  
大坂ヲ待ツ

改カ  
痛

四月四日午前九時三十分迄

西郷

里田冬集

大  
歳  
首

